

震災で写真が1枚も残っていない 二人で撮るのは結婚式以来かな

仮設住宅に笑顔・写真を届けようチーム結成、参加者募集！



女川町運動公園仮設住宅で

宮城民医連事務局有志で、“仮設住宅に笑顔・写真を届けようチーム”を立ち上げました。震災で写真が1枚も残っていないという話を聞き、また、数年後、仮設住宅を出た時、そんなこともあったなと思える日が来ることを願って、写真を撮って、その十数分後に、小さな額に入れて写真を届けようというものです。

これまで数ヶ所で実施しましたが、「二人で撮るのは結婚式以来かな」など大変喜ばれています。チームではボランティア参加出来る人を募集しています。作業は①写真を撮る ②印刷する（ボタンを押せば30秒で写真が出来ます） ③写真を額に入れてすぐに届ける 誰にでも出来る作業です。

合せてポストカード（葉書）をいれる額（100円均一商品大歓迎）もありましたら、県連までお届けいただければ嬉しいです。

<お問い合わせ先> 宮城民医連事務局 電話 022-265-2601



人間あまりの衝撃には声も発せないって本当ですね

笑顔・写真を届けようチームにお便り

わざわざ写真届けて下さってありがとうございました。ちょうど28日は胃ガン検診がありまして町立病院に行っておりました。何のおかまいもなく本当にすみませんでした。みんな美人に写してくださってありがとうございました。あのメンバーで、写真をみながら、お茶を飲み、逢った時のことを語り合いました。全く見ず知らずの人とちょっとしたきっかけで、こんなに親切にしてもらって、世の中捨てたもんじゃないねって皆で語り合いました。神馬さんの人としての思いやりに感動しました。まさかこういうニュースに書かれているとは知らず言いたい放題喋ってしまって申し訳ありませんでした。

3月11日の日は、本当に助かったのが不思議なくらいです。目の前で家が流され、車が流され、船が道路が山が木が電柱が すべての物がどんどん消えていく様は本当にこの世の物の光景ではありませんでした。不思議に涙も声も出ませんでした。人間あまりの衝撃には、声も発せないって本当ですね。でも何とか皆様の支援でここまでやってこれました。マイナスからのスタートですが、とにかく精いっぱい、今、私に出来る事から、こつこつ働いて明るく前を見て、笑って、生かされた命を大事にして、生きて行くのが支援して下さいました皆様への恩返しだと思っております。本当にありがとうございました。又、いつか逢える日がありますように、お祈りしております。お待ちしております。

(石森 あき子)



七ヶ浜町第一スポーツ広場仮設住宅で

